

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・3月13日よりおきなわ省エネ家電購入応援キャンペーンが始まり、対象商品のエアコン、冷蔵庫、テレビの販売量が増加している。
	◎	その他飲食店 〔ファーストフード〕（総務部）	来客数の動き	・学生の観光客が多く訪れており、売上、来客数共に増加している。
	◎	観光型ホテル （専務取締役）	来客数の動き	・スポーツ合宿など春先の団体来客数の動きは活発だった。その影響で、今年の実績値は前年比で好調に推移している。
	○	一般小売店〔土産〕（営業部長）	来客数の動き	・入域観光客が増加している。インバウンドも増えており、特に台湾からの観光客が多い。
	○	百貨店（経営担当）	来客数の動き	・バレンタインデーの返礼ギフト需要などで来店客が増加している。
	○	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・3か月前と比較すると、物価高の影響による節約志向は残るものの、催事品は好調に推移した。3月のひな祭りや旧十六日祭りにおいても、高単価な重箱やオードブル、和菓子等が好調であった。
	○	スーパー（店舗管理）	単価の動き	・既存店の年度末需要とあいまって、103%以上の数字を維持している。国策である地域振興の対策も購買を押し上げている一因である。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・気温の上昇で、暖かくなっているのが要因である。他にも、卒業旅行などの客が増加していることも要因の1つだとみている。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部長）	販売量の動き	・春休みシーズンで繁華街は多くの人であふれており、観光客も来店している。インバウンドも前年より微増している。
	○	一般レストラン（代表者）	来客数の動き	・歓送迎会での利用が多かった。
	○	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・12月のホテルの販売室数が前年比6%増加なのに対し、3月は前年比12%増加で、プラス幅が上昇している。
	○	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・今月の景気は3か月前と比べてやや良くなっている。3月は卒業や新生活の準備が重なる時期で、スマートフォンの需要が高まり、来客数、販売数共に増加している。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・前月から今月にかけて、来客数が前年を超えている。
	○	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・分譲住宅の問い合わせが増えている。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街では飲食店が多くなり、物品販売の景況は徐々に厳しさを増している。
	□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・消費量が増加している様子は見受けられず、直近と比較しても変化はみられない。
	□	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・中東情勢の不安から、ガソリン価格の高騰が続いており、車の購入意欲が低下しているとみられる。
	□	観光型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・2月から5月にかけて予約が好調に推移している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	単価の動き	・インバウンドが減少したことで、全面的なホテル料金の上昇が落ち着くとみられていたが、物価や石油価格の高騰により再び上昇傾向にある。
	□	住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・一般住宅等の売却査定依頼や内覧希望者数は、3か月前と変わらず堅調に推移している。一方で、投資対象としての軍用地等については、金利上昇への警戒感からか問い合わせが目に見えて減少しており、価格も下落傾向にある。
▲	一般小売店〔酒〕（店長）	お客様の様子	・原油価格の上昇による物価高騰で、飲食店は大きな打撃を受けている。	
▲	コンビニ（店長）	それ以外	・物価高騰により、利用する飲食店や日用品がそれぞれ値上げしている。	

	▲	その他専門店 [陶器] (製造)	販売量の動き	・売上は減少していないが、客先で日本人の購入が減少している。
	▲	その他飲食店 [バー] (経営者)	来客数の動き	・3月前半は人の動きが見られたものの、後半はほとんど見られなかった。
	▲	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・3月の販売数は、前年比で1割減少となっている。中東情勢の影響で光熱費の価格が上昇した場合、更に販売数が落ち込むとみている。
	×	コンビニ (経営企画担当)	来客数の動き	・客が価格に対して慎重になっており、来客数が減少している。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・観光関連の売上は好調に推移している。最低賃金引き上げの影響により、一般消費者による食品の売上も増加しているとみている。
	○	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・大型工事の受注も含め、今月も受注状況は好調となっている。
	○	輸送業 (総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・前年同月比で増収増益となっている。
	○	通信業 (総務)	それ以外	・海外や県外からの観光需要は、引き続き拡大基調で推移している。
	□	窯業土石業 (取締役)	受注量や販売量の動き	・見積依頼は全体で横ばいだが、民間工事の割合が若干増加している。
	▲	輸送業 (経営企画室)	それ以外	・原油価格の高騰で、トラックの輸送費や物流業務で使用する資材が高騰しており、入手が困難になっている。
	▲	会計事務所 (所長)	それ以外	・国際情勢による物価上昇や、為替安による輸入コスト増加などの傾向が当面続くとみている。
	×	*	*	*
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	求人情報誌制作会社 (審査)	求人数の動き	・卒業シーズンによる欠員補充や、ゴールデンウィーク前の採用需要を背景に、サービス業の求人数は増加傾向にある。
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・前年比で求人数は減少したが、求人側からの人手不足に関する相談は多くなっている。
	▲	人材派遣会社 (総務担当)	それ以外	・中東情勢によるガソリン価格の値上がりの影響で景気は悪化している。
	▲	学校 [専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・企業と学生共に就職活動の動きが早まっているため、求人時期が前倒しされている。それに伴い、求人数は前年同期比で減少している。
	▲	学校 [大学] (就職支援担当)	それ以外	・燃料費の上昇によって、学生を含めて生活が圧迫されている。物価上昇は、今後も生活費を圧迫するとみている。
	×	—	—	—